

**I-O DATA**

グラフィックカード  
**CFXGA**  
取扱説明書

---

117084-01

以下は、本書内で呼ばれている言葉の意味です。

呼び方	意 味
Windows CE	Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> CE Operating System の総称
Pocket PC	Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> Powered Pocket PCの総称
Handheld PC	Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> Powered Handheld PCの総称
Windows XP	Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> XP Professional Operating System および Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> XP Home Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> 98 Operating System
Windows 98 SE	Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> 98 Second Edition Operating System
Windows	上記Windowsの総称
ActiveSync	Microsoft <sup>®</sup> ActiveSync <sup>®</sup> の総称
PowerPoint	Microsoft <sup>®</sup> Office PowerPoint <sup>®</sup> の総称
Excel	Microsoft <sup>®</sup> Office Excelの総称
Word	Microsoft <sup>®</sup> Office Wordの総称

# 安全上のご注意

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しく  
お使いいただくための注意事項を記載しています。  
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

## ■ 警告および注意表示

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## ■ 絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。  
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)  「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。  
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)  「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。  
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)  「電源プラグを抜く」を表す絵表示

## 警告



厳守

**本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。**



分解禁止

**本製品を分解したり、改造しないでください。**

火災・感電・動作不良の原因となります。



電源プラグを抜く

**煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。**

電源がある場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



発火注意

**本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。**

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルからの発煙や、火災の原因となります。



厳守

**本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で取り付け、取り外し方法をご確認ください。**

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

### 電池・充電機について



禁止

**電池・充電機の液が漏れたときは素手で液をさわらないでください。**

電池・充電機の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となります。

液が目に入ったとき ➡ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服についたとき ➡ すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



禁止

## 電池・充電電池で以下のことにご注意ください。

液が漏れて、けがややけどの原因となります。

- 火の中に入れてたり、加熱・分解・改造したり、水で濡らしたりしない
- （＋）（－）を金属類で短絡させたり、はんだ等を使用しない
- くぎを刺したり、分解・改造をしない
- ネックレスやヘアピン等の金属と一緒に持ち運ばない
- 60℃以上の場所、車中での放置しない
- 電子レンジ・オープンに入れない
- 定格条件以外での使用をしない

### 電池について



厳守

## 電池は乳幼児の手の届かない場所に置いてください。

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。

万一、飲み込んだとき  ただちに医師に相談してください。



禁止

## 電池を充電しないでください。

液が漏れて、けがややけどの原因となります。

### リチウム電池について



破裂注意

リチウム電池には、リチウムが含まれており、誤った使用、交換、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。



禁止

電池を水に浸したり、100℃以上に熱したり、分解したりしないでください。



厳守

リチウム電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。



## 注意



注意

**本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。**

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



禁止

**本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。**

故障の原因となることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波の発生する物の近く  
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- 水気が多い場所（台所、浴室など）
- 傾いた場所
- 腐食性ガス雰囲気中（ $\text{Cl}_2$ 、 $\text{H}_2\text{S}$ 、 $\text{NH}_3$ 、 $\text{SO}_2$ 、 $\text{NO}_x$ など）
- 静電気の影響の強い場所
- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）



禁止

**本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。**

- 落としたり、衝撃を加えない
- 製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない



禁止

**本製品を保管する場合はご購入時の箱に入れてください。  
また、本製品は以下のような場所で保管しないでください。**

故障の原因となることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- 水気が多い場所（台所、浴室など）



注意

**本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなど人命に関わる設備や機器、および海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。**

これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

## 電池について



厳守

**電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは取り出してください。**

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となります。

万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池をいれてください。



厳守

**ACアダプタを使用するときは、本製品から電池を取り出してください。**

液が漏れたりしてけがややけどの原因となります。

万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池をいれてください。

# もくじ

安全上のご注意 .....	i
もくじ .....	vi

## ご使用になる前に

特徴 .....	2
箱を開けたら .....	4
動作環境 .....	5
使用上の注意 .....	6

## インストール

インストール前の準備 .....	8
インストール .....	9

## 取り付け

各部の名称 .....	14
取り付け .....	16

## 便利な使い方いろいろ

「EasyView」とは? .....	20
PPKファイルを作成しよう.....	22
PPKファイルを使おう .....	26
「EasyView」でリモコンを使おう.....	31
「EasyView」の詳細 .....	32
「ClearVue」の紹介 .....	36

## いろいろ

困ったときには .....	38
仕様.....	42
お問い合わせ .....	46
修理について .....	47

# MEMO

# ご使用になる前に

ご使用になる前に、必要なものがそろっているか、正しく動作できる環境か確認します。



## 特徴

2 ページ

本製品の特徴をご紹介します。



## 箱を開けたら

4 ページ

箱の中に必要なものがすべてそろっているか確認してください。



## 動作環境

5 ページ

お手元のPDAやパソコンは本製品が動作可能な状態にあるかどうか確認してください。

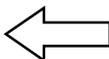
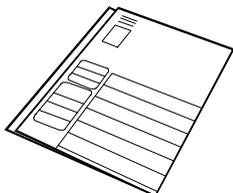


## 使用上の注意

6 ページ

各注意事項を確認してください。

## ユーザー登録をしよう



登録方法は、添付のユーザー登録カードをご覧ください。

# 特徴

## 携帯性No1のプレゼンツール

PDA対応だから、携帯性バツゲン！

すばやい電源ON/OFFと長時間駆動でいつでもどこでも手軽に本製品を利用することができます。

※本製品でプレゼンを行う場合は、お手持ちのパソコンにPowerPointがインストールされている必要があります。

## プレゼンに便利な2つのアプリケーション

### ●EasyView

PowerPointのライドショーを大画面に出力！

添付のリモコンを使えば、手軽にプレゼンを行うことができます。

また、ミラーモード機能を搭載しているので、PDAの画面をそのまま大画面に表示することができます。

### ●ClearVue

Microsoft OfficeバージョンXP、2000、97のPowerPoint、Excel、WordファイルをPDAに表示することができます。また、本製品を使えば、PowerPointのライドショーを大画面に表示可能！

さらにペン入力機能で、PDAの画面に書いた文字もライドと一緒に大画面に表示できます。

## 3系統の出力に対応

出力ケーブル1本で、いろいろな表示機器に接続可能。848x480のワイド解像度にも対応しており、プラズマディスプレイ(PDP)にも出力できます。

- ①アナログRGB出力 - CRT、液晶ディスプレイ、PDP等
- ②Sビデオ出力 - テレビ、ビデオ等
- ③ビデオ出力 - テレビ、ビデオ等

※同時に複数の機器に出力することはできません。



### リモコンを標準添付

PDAの赤外線(IrDA)を利用して添付のリモコン※がご使用になれます。

※*EasyView*起動時のみ使用可能

今までのようにスクリーンに近づいて指す必要はありません。画面に表示されるカーソルを手元のリモコンで操作することができます。

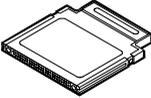
また、ページの“送り”、“先頭へ”、“最後へ”は、1ボタンで移動できます。

# 箱を開いたら

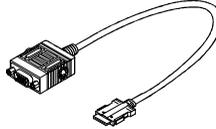
## 箱の中を確認してください

箱の中には以下のものが入っています。

にチェックをつけながら、ご確認ください。



グラフィックカード  
CFXGA



出ケーブル



リモコン



CFXGAサポートソフト



リチウム電池（1個）  
[型番：CR2025]  
リモコン用電池



フェライトコア  
(ノイズフィルタ)

本書



CFXGA取扱説明書



ハードウェア保証書



ユーザー登録カード



ハードウェアシリアル  
NO. シール

### 注意

- ・万一、不足がございましたら弊社サポートセンターまでお知らせください。
- ・箱および梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。

ユーザー登録はお済みですか？  
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。登録してから次ページへ進みましょう！



## 動作環境

お手元のPDAおよびパソコンが、以下の条件を満たしているか、確認してください。

### ■ PDA ■

機種	CF Type I およびType II スロットに対応したPDAマシン ※対応機種は、弊社ホームページにて公開中 <a href="http://www.iodata.jp/products/graphics/2002/cfxga.html">http://www.iodata.jp/products/graphics/2002/cfxga.html</a>
OS	Windows CE 3.0
プラットフォーム	Pocket PC、Pocket PC 2002 Handheld PC 2000
CPU	・VR41XXシリーズ (MIPS) ・StrongARM (ARM)
モニタ /テレビ	・アナログディスプレイ ・プロジェクタ ・プラズマディスプレイ(PDP) ・Sビデオ、もしくはビデオ入力端子搭載テレビ など

### ■ パソコン ■

※アプリケーションのインストールおよびPPKファイルの作成で使します。

機種	PC98-NXシリーズ DOS/Vマシン
OS	Windows XP Windows 2000 Windows Me Windows 98 (Second Edition含む)
インストール済 アプリケーション	・Microsoft Office PowerPoint バージョンXP、2000、97 ・Microsoft ActiveSync 3.1以上
その他	CD-ROMドライブ ※「CFXGAサポートソフト」等をインストールする際に使します。

## 使用上の注意

・**Readme.txtをお読みください。**

正しくお使いいただくために、「CFXGAサポートソフト」のルートフォルダ内にあるReadme.txtを必ずお読みください。Readme.txtには大切な事項が書かれています。

・**取り付け/取り外し時は電源を切ってください。**

本製品の取り付けや取り外しの際は、必ずPDA本体の電源を切ってください。

・**静電気に注意してください。**

コネクタ部には、直接手を触れないでください。本製品に静電気が流れると部品が破壊される恐れがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品を取り付けたり取り外したりする前に、スチールキャビネットなどの金属製の物に触れて必ず静電気を逃がしてください。

・**本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。**

47ページ【修理について】をご覧ください。

# インストール



PDAに本製品を認識させる作業です。



## インストール前の準備

8 ページ

インストールに必要な準備を行ってください。



## インストール

9 ページ

本製品を使用する上で必要なインストール作業を行ってください。

### 注意

本製品はまだPDAに取り付けしないでください。  
取り付けは本章でサポートソフトをインストールしてから取り付けてください。

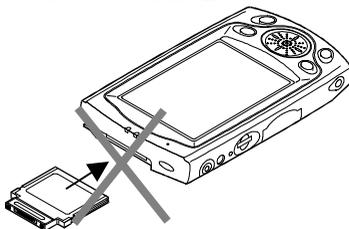
# インストール前の準備

本製品を使用するには、最初にパソコンとPDAをActiveSyncで接続して「サポートソフト」をインストールする必要があります。

## ●インストール前の準備

### 準備①：本製品は取り付けない

インストール時はまだ本製品をPDAに取り付けないでください。



### 準備②：パソコンにPowerPointをインストール

「PowerPointアドインソフト」をインストールするには、あらかじめパソコン側にPowerPointがインストールされている必要があります。

※PowerPointがインストールされていないと「PowerPointアドインソフト」が正しくインストールされません。

#### 注意

Windows XPで「コンピュータの管理者」権限、Windows 2000では「Administrator」権限でログオンしてインストールしてください。

### 準備③：PDAとパソコンの接続(ActiveSyncの設定)

PDAとパソコンをActiveSyncで接続してください。

#### 参照

PDAとパソコンとの接続(ActiveSync)については、PDAの取扱説明書を参照してください。

# インストール

## 1 「CFXGAサポートソフト」をパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

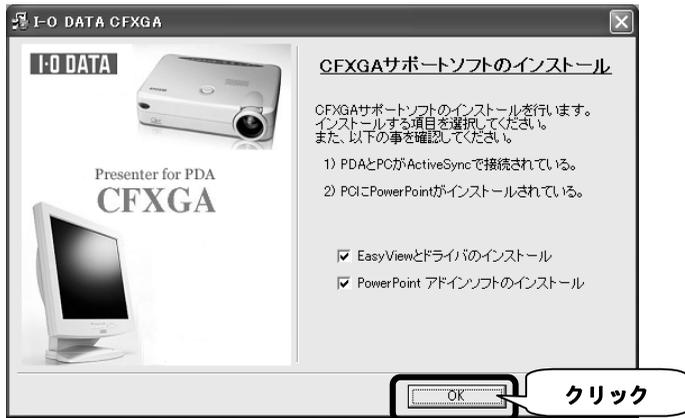
インストーラが起動します。



## 2 インストールする項目をチェックし、[OK] ボタンをクリックします。

※起動時は、[EasyViewとドライバのインストール]と[PowerPointアドインソフトのインストール]にチェックがついています。

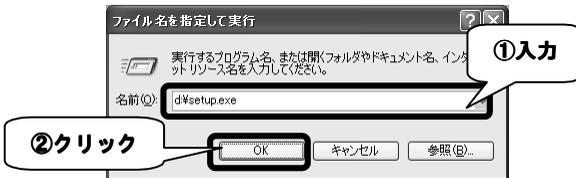
### ▼ インストーラ画面



### 参考

手順2の画面が表示されない場合…

- ① [スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックします。
- ② [ファイル名を指定して実行]ウィンドウで、「d:\¥setup.exe」（CD-ROMドライブがDドライブの場合）と入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 3** 以下の画面が表示されます。  
[OK]ボタンをクリックします。



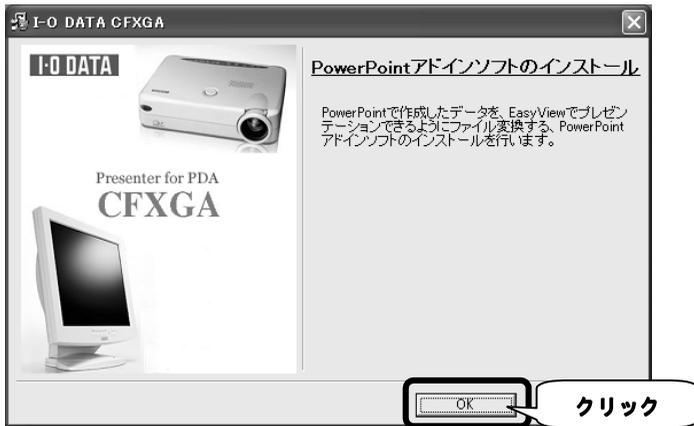
- 4** 以下の画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。  
→インストールがはじまります。



- 5** 以下の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



## 6 [OK] ボタンをクリックします。



## 7 [次へ] ボタンをクリックします。



**8** [完了]ボタンをクリックします。



**9** [OK]ボタンをクリックします。



**10** サポートソフトCD-ROMを取り出します。  
以上でインストールを終了します。

この後、次ページ以降を参照して、本製品をPDAに取り付けてご使用ください。

# 取り付け

 本製品をPDAに取り付けます。



各部の名称

**14**ページ

-----  
本製品の各部の名前を確認してください。



取り付け

**16**ページ

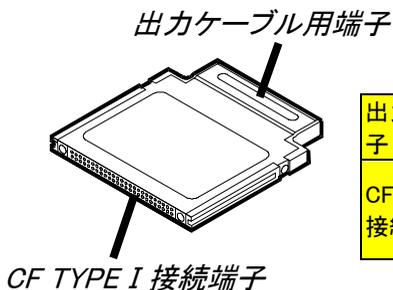
-----  
本製品をPDAに取り付けます。

**注意**

必ず【インストール】(9ページ)でサポートソフトをインストールしてから本製品をPDAに取り付けてください。

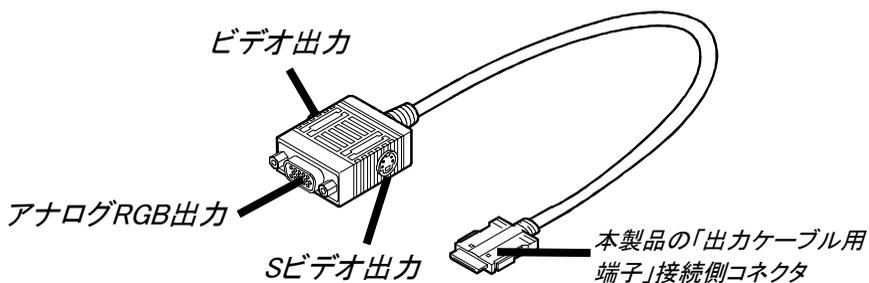
# 各部の名称

## 本製品



出力ケーブル用端子	添付の出力ケーブルと接続します。
CF TYPE I 接続端子	PDAのCF TYPE I または TYPE II スロットに挿入します。

## 出力ケーブル



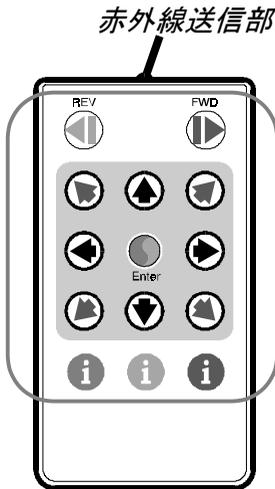
アナログRGB出力※	アナログRGB入力を搭載した、ディスプレイ等と接続します。
Sビデオ出力※	Sビデオ入力を搭載した、テレビ等と接続します。
ビデオ出力※	ビデオ入力を搭載した、テレビ等と接続します。
本製品の「出力ケーブル用端子」接続側コネクタ	本製品の「出力ケーブル用端子」に接続します。

※同時に複数の機器に出力することはできません。

出力ケーブルのコネクタには、1本のケーブルのみ接続してください。

## リモコン

※使用範囲はPDAの赤外線受光部より約1m以内

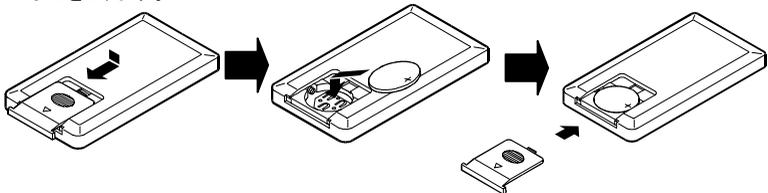


赤外線送信部	赤外線 (IrDA) を送信します。
各種ボタン	詳細は31ページを参照してください。

### 注意

- ・本製品で利用できる電池の規格は CR2025 です。  
電池は消耗品のため、残量が少なくなりましたら別途お買い求めください。
- ・リモコンをご使用になる場合は、以下を参照して、添付の電池を入れてください。

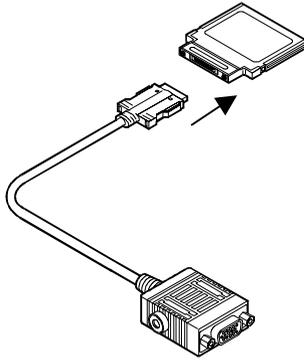
- ①リモコンを裏返し、ふたをとります。
- ②添付の電池を入れます。
- ③ふたを元に戻します。



# 取り付け

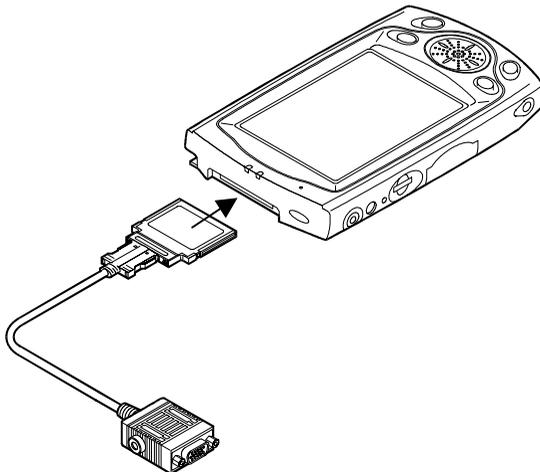
※ PDAの取扱説明書も合わせてご参照ください。

- 1 PDA本体の電源を切ります。
- 2 本製品に出力ケーブルをさします。



- 3 CF Type I またはType II に対応したスロットに、本製品をさします。

※本製品を逆にささないようご注意ください。



## 4 ディスプレイやテレビを必要に応じて接続します。

### 注意

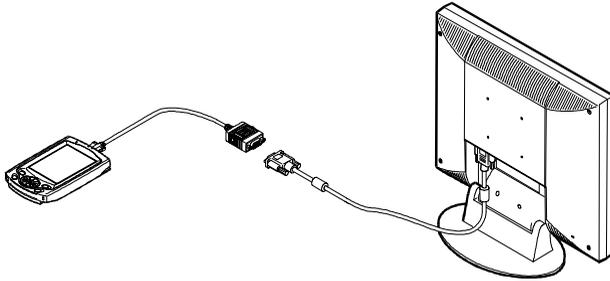
本製品の出力ケーブルのコネクタに接続可能なケーブルは1本のみです。  
複数のケーブルを出力ケーブルに接続して使用することはできません。

ディスプレイ  
プロジェクタ等を接続

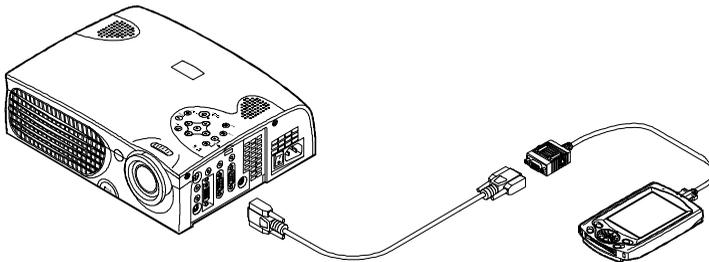
「アナログRGB出力」にアナログディスプレイケーブル\*を接続します。

\* 別途ご用意ください。

### <ディスプレイとの接続例>



### <プロジェクタとの接続例>



Sビデオ入力端子を搭載したテレビを接続

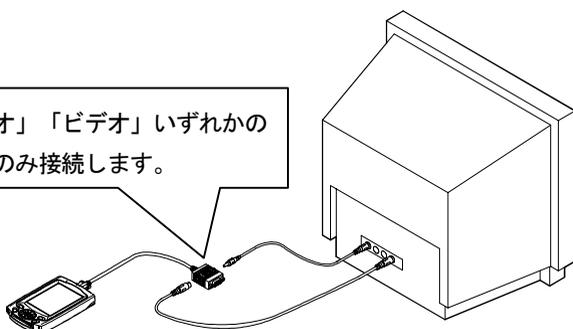
「Sビデオ出力」にSビデオケーブル※を接続します。

ビデオ入力端子を搭載したテレビを接続

「ビデオ出力」にビデオケーブル※を接続します。

※ 別途ご用意ください。

「Sビデオ」「ビデオ」いずれかのケーブルのみ接続します。



**注意**

「Sビデオ出力」「ビデオ出力」をお使いになる場合

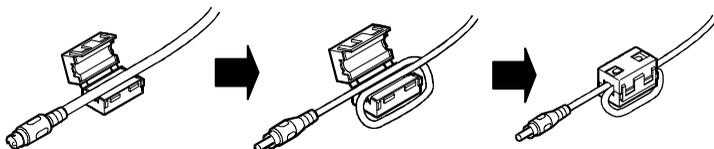
本製品にはノイズ対策用としてフェライトコアを添付しています。  
お手持ちの「Sビデオケーブル」(もしくは「ビデオケーブル」)にフェライトコアを取り付け、ご使用になることをおすすめします。

<フェライトコアの取り付け方>

①フェライトコアにケーブルを通します。

②ケーブルが細い場合は一重させます。

③フェライトコアをとめます。



# 便利な使い方いろいろ

本製品の便利な使い方を紹介します。  
十分に活用して、最適な環境でお使いください。



## 「EasyView」とは？

20ページ

「EasyView」の機能をご紹介します。



## PPKファイルを作成しよう

22ページ

PPKファイルの作成方法を説明します。



## PPKファイルを使おう

26ページ

スライドショーモード、ミラーモードの基本操作を説明します。



## 「EasyView」でリモコンを使おう

31ページ

「EasyView」でのリモコンの使い方をご紹介します。



## 「EasyView」の詳細

32ページ

「EasyView」の各画面の詳細について説明します。



## 「ClearVue」の紹介

36ページ

「ClearVue」をご紹介します。

# 「EasyView」とは？

「EasyView」とは、PDA用のプレゼンテーションツールです。  
ぜひ活用して、快適なプレゼン環境を実現してください。

## 《EasyView の2つのモード》

「EasyView」には以下の2つのモードがあります。

スライドショーモード ⇒ 詳しくは、26ページをご覧ください

パソコンで作成したファイルを、PDAを使って、大画面にスライドショーを表示します。

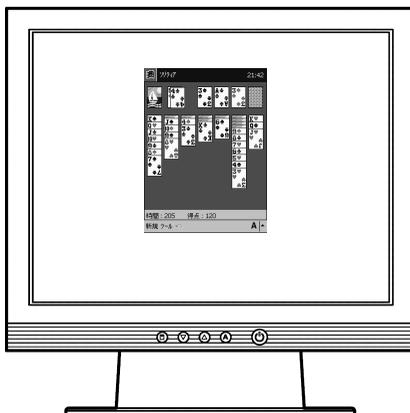
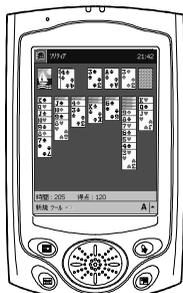


ミラーモード ⇒ 詳しくは、29ページをご覧ください

PDAの画面と同じ画像を、本製品に接続したモニタに表示します。

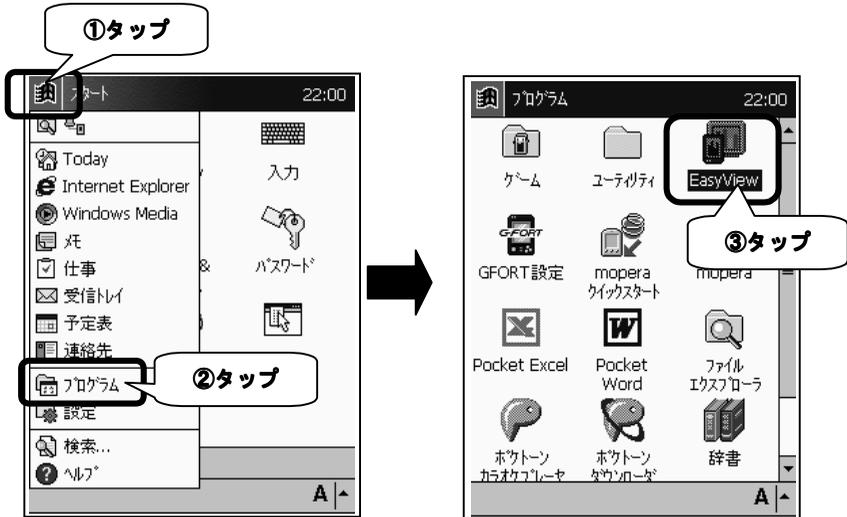
※PDAと同じ解像度となります。

拡大は行えません。



## <<EasyView起動方法>>

[スタートメニュー]→[プログラム]をタップ後、[EasyView]アイコンをタップします。



### 参考

上記の画面はすべてPocket PC時のものです。

以上で[EasyView]は起動します。  
[EasyView]の詳細については次ページ以降を参照してください。

# PPKファイルを作成しよう

スライドショーモードを行うには、最初にパソコンでPPKファイルを作成する必要があります。

## 参考

PowerPointアドインソフトをインストールすると、PowerPointの[ファイル]メニューに[PPKファイルの設定]項目が追加されます。これを使って、PPKファイルの作成を行います。

**1** パソコンでPowerPoint. PPKを起動し、プレゼンテーションファイルの新規作成を行います。

**2** PPKファイルのページサイズの設定を行います。  
[ファイル]→[. PPKファイルの設定]→[ページサイズの設定]  
をクリックします。



**3** ページサイズおよび色数を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



**参考**

PowerPointは通常 720×540 サイズです。  
本製品は 1024×768 までサポートしていますので、お使いのプレゼンテーション環境に合わせた[サイズ]、[色数]をお選びください。

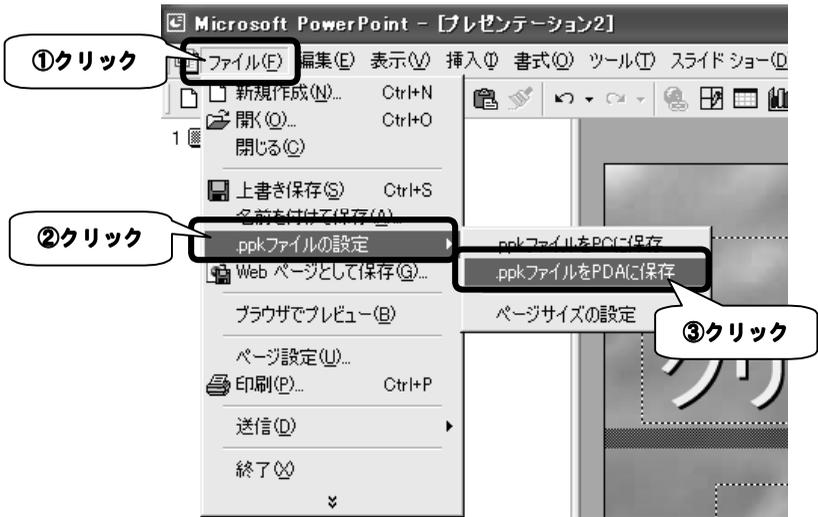
**4** プレゼンテーションファイルを作成します。

# 5 プレゼンテーションファイルの作成が完了したら、PPKファイルとして保存します。 保存する方法は2種類あります。

## ケース①:PDA本体に直接保存

[ファイル]→[. PPKファイルの設定]→[. PPKファイルをPDAに保存]  
をクリックします。

※ただし、ActiveSyncにて、パソコンとPDAが接続されている必要があります。



## ケース②: パソコン本体に保存

- 1 [ファイル]→[. PPKファイルの設定]→[. PPKファイルをPCに保存]をクリックします



- 2 保存したPPKファイルをPDAにコピーします。

### 注意

- ・PDAに、PPKファイルをコピーする場合は、必ず、[My Documents]フォルダの下に保存してください。  
※上記フォルダ下に保存しないとPDAからファイルを選択できません。
- ・PPKファイルで保存すると、プレゼンテーションファイルで作成したアニメーション、ビデオ、サウンドの効果は無効になります。
- ・一度保存したPPKファイルの編集は行えません。  
内容を変更したい場合は、元となるPowerPointファイルを編集し、再度PPKファイルへの保存を行ってください。

# PPKファイルを使おう

PPKファイルを使った、スライドショーモード、ミラーモードの基本操作について説明します。

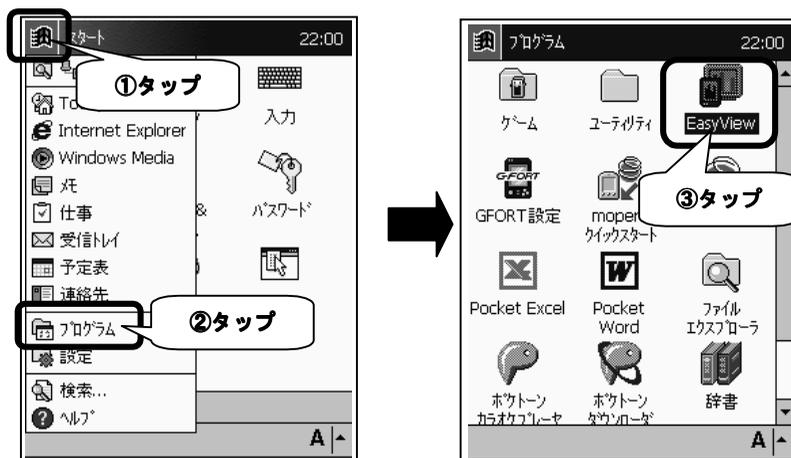
以下の個所を参照してください。

スライドショーを行いたい場合 → 以下参照

ミラーモードで使いたい場合 → 29ページ参照

## スライドショーを行いたい場合

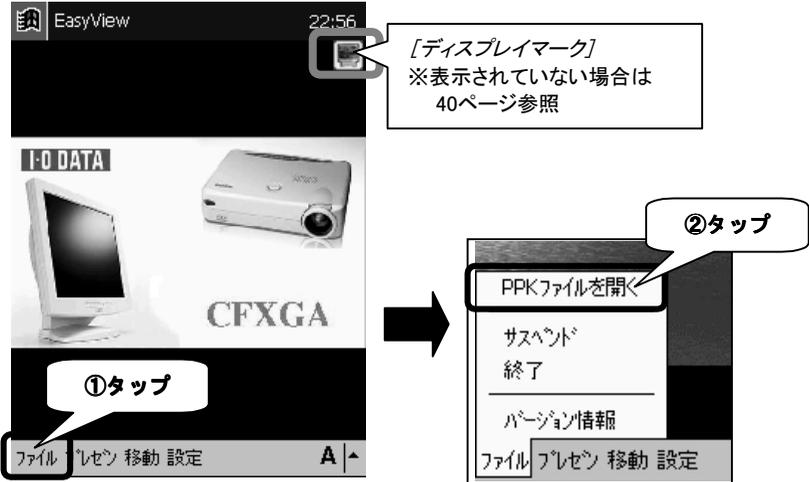
- 1 パソコンで作成した、PPKファイルを、PDAの「My Documents」に保存します。
- 2 一度PDAの電源を切り、本製品をPDAにさした後に、PDAの電源を入れます。
- 3 [EasyView]を起動させます。  
[スタートメニュー]→[プログラム]をタップ後、[EasyView]アイコンをタップします。



#### 4 PPKファイルを開きます。

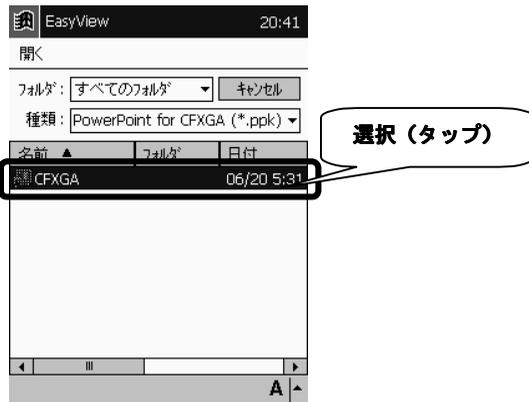
[ファイル]→[PPKファイルを開く]をタップします。

※以下の画面で[ディスプレイマーク]が表示されていることも確認してください。



#### 5 PPKファイルを開きます。

[ファイル]→[PPKファイルを開く]をタップし、開きたいファイルを選択します。

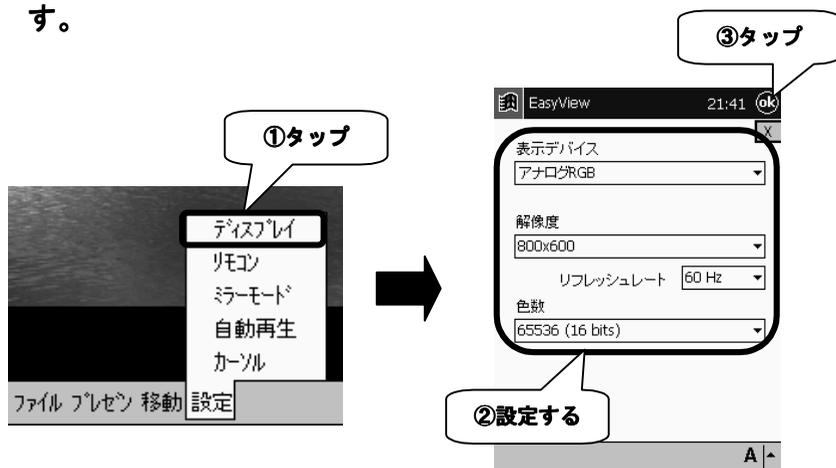


## 6 出力先の設定を行います。

[設定]→[ディスプレイ]をタップします。

お使いの環境にあわせて各種設定を行います。

**設定後、右上の [OK] をタップすると、設定が有効になり、本製品に接続した表示機器に、PPKファイルが出力されます。**



## 7 あとは、リモコンや、[移動]を使って、プレゼンテーションのシートを切り替え、スライドショーを行います。

※リモコンの操作については31ページ参照



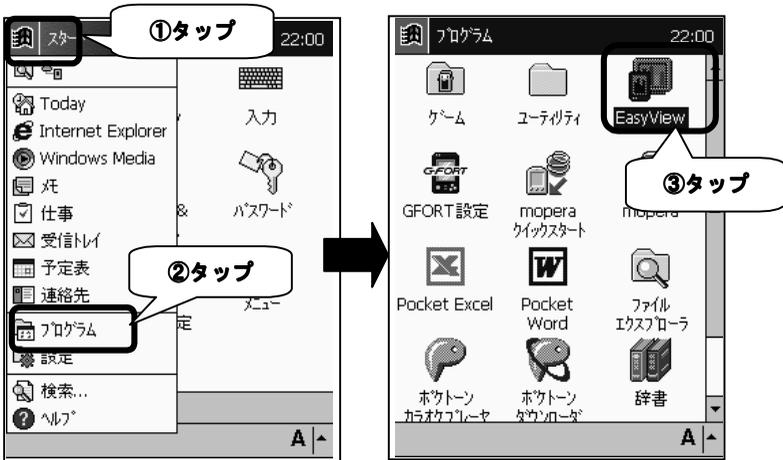
シートを操作します



以上が、『スライドショー』の基本操作です。  
詳細設定については、32～35ページをご参照ください。

## ミラーモードで使用したい場合

- 1 一度PDAの電源を切り、本製品をPDAにさした後に、PDAの電源を入れます。
- 2 [EasyView]を起動させます。  
[スタートメニュー]→[プログラム]をタップ後、[EasyView]アイコンをタップします。



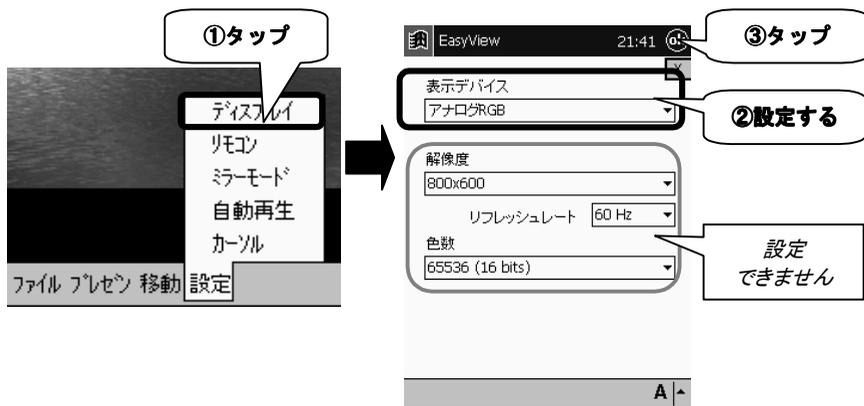
### 3 出力先の設定を行います。

[設定]→[ディスプレイ]をタップします。

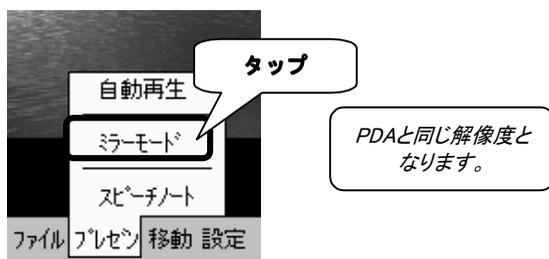
接続した表示デバイス（機器）を選択してください。

※[解像度][色数]は設定できません。

設定後、右上の [OK] をタップすると設定が有効になります。



### 4 [プレゼン]→ [ミラーモード] をタップすると、PDAと 同じ画面が、本製品に接続した表示機器に映し出されます。



### 5 ミラーモードを終了する場合は、[プレゼン]→ [ミラーモード] をタップし、チェックマークを外します。

以上が、『ミラーモード』の基本操作です。

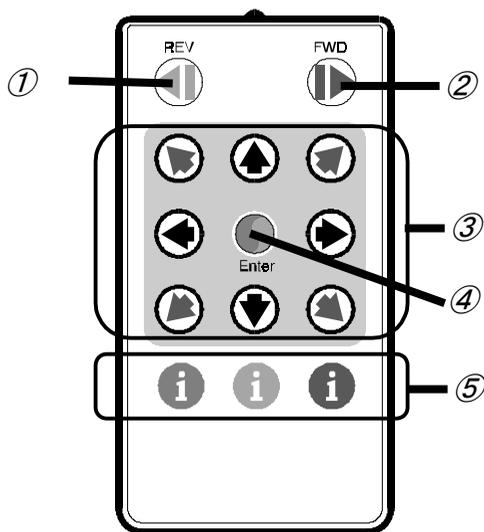
詳細設定については、32～35ページをご参照ください。

## 「EasyView」でリモコンを使おう

赤外線を受光部を搭載したPDAで、添付のリモコンを使うことができます。

### 注意

使用範囲： PDAの赤外線受光部より約1m以内  
リモコンは PDA の赤外線受光部に向けてご使用ください。



①	1ページ戻ります。
②	1ページ進みます。
③	カーソルをそれぞれの矢印の方向に動かします。
④	カーソルを赤色に変えます。
⑤	35ページで設定した操作を行います。

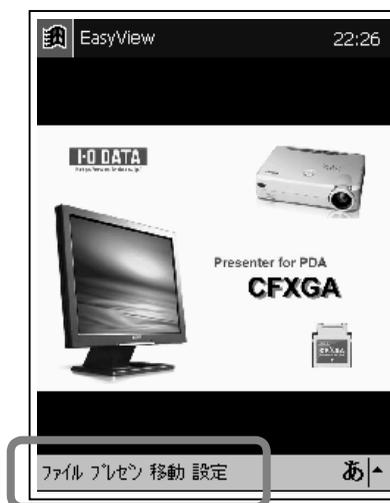
# 「EasyView」の詳細

ここでは、「EasyView」の各画面の詳細について説明します。

## 参考

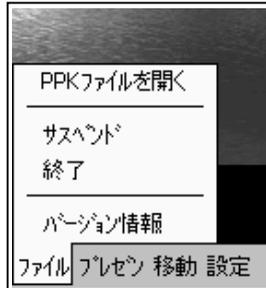
以下および次ページ以降の画面はすべてPocket PC時のものです。

## <<機能の概要>>



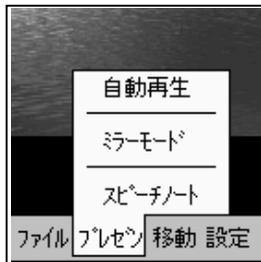
ファイル	EasyView用プレゼンファイル(PPKファイル)のオープンや、EasyViewの終了、バージョン情報の確認ができます。
プレゼン	自動再生の切替や、ミラーモードへの切替、スピーチノートの参照ができます。
移動	オープンしたPPKファイルの、ページ操作(“先頭”や“前へ”など)ができます。
設定	ディスプレイ、リモコン、ミラーモード、自動再生、カーソルの設定をします。

## <ファイル>



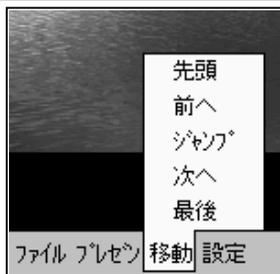
PPKファイルを開く	PPKファイルを開きます。
サスペンド/レジューム	出力しているモニタに対して、サスペンド(表示OFF)もしくは、レジューム(表示ON)の切替を行います。
終了	EasyViewを終了します。
バージョン情報	EasyViewのバージョン情報等を表示します。

## <プレゼン>



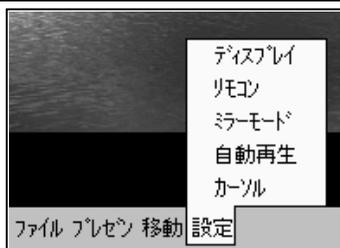
自動再生/再生停止	自動再生のスタート/ストップの切替を行います。
ミラーモード	ミラーモードのON/OFFの切替を行います。 ※ミラーモード時は、チェックマークがつきます。
スピーチノート	PPKファイルのスライドノート(PowerPointで作成したスライドノート本文)を表示します。

## <移動>



先頭	PPKファイルの先頭ページへ移動します。
前へ	1つ前のページに戻ります。
ジャンプ	任意のページに移動します。
次へ	次のページへ移動します。
最後	PPKファイルの最終ページへ移動します。

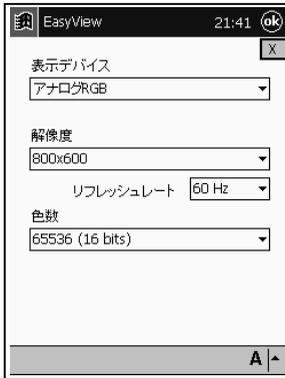
## <設定>



ディスプレイ	出力するモニタおよび解像度、色数を設定します。 ※ミラーモード時は使用できません。 ※設定できる値は42ページ【仕様】を参照してください。
リモコン	リモコンボタンの機能を設定します。
ミラーモード	ミラーモード時の画面の更新間隔を設定します。
自動再生	自動再生時のページ切り換え間隔を設定します。
カーソル	カーソルの移動量、加速度を設定します。

※各設定画面は次ページの通りです。

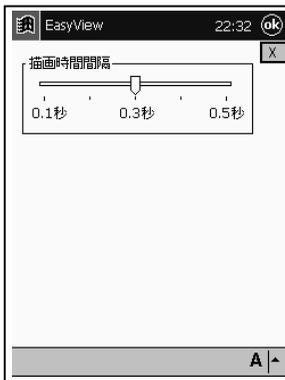
＜設定＞→ディスプレイ



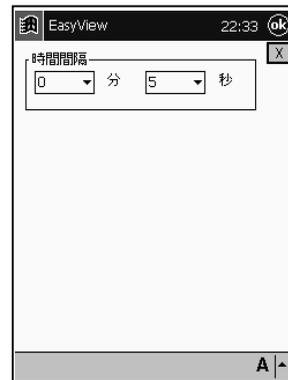
＜設定＞→リモコン



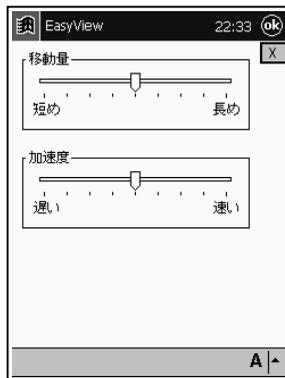
＜設定＞→ミラーモード\*



＜設定＞→自動再生



＜設定＞→カーソル



## 「ClearVue」の紹介

「ClearVue」には、以下の3つのアプリケーションがあります。



ClearVue  
Presentation

ClearVue Presentationは、PDAでPowerPointファイルを表示する機能を持ったアプリケーションです。アニメーションやスライド効果が入ったPowerPointファイルでも、効果を有効にしたまま表示できます。また、CFXGAを使って、大画面にPowerPointファイルを表示することもできます。



ClearVue  
Worksheet

ClearVue Worksheetは、Excelファイルを表示できるだけでなく、貼り付けられたグラフやチャートシートも表示できるアプリケーション\*です。



ClearVue  
Document

ClearVue Documentは、Wordファイルを表や画像、表列等を含んだ文書を表示できるアプリケーション\*です。

※「ClearVue Worksheet」および「ClearVue Document」では、本製品を利用しての出力には対応しておりません。

### 参照

インストール方法、その他詳細については、「CFXGAサポートソフト」CD-ROM内の[ClearVue]フォルダー→[Manual]フォルダ内の[ClearVue.pdf]ファイルをご確認ください。(同じフォルダにある[manuJP.exe]を実行するとこのファイルを見ることができます。)

# ふろく



## 困ったときには

**38**ページ

本製品をご使用時に、異常があった場合にご覧ください。



## 仕様

**42**ページ

本製品の仕様一覧です。

## 困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

### 弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

<http://www.iodata.jp/support/>

製品 Q & A  
Newsその他

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。  
下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロード  
してお試しください。

<http://www.iodata.jp/lib/>

最新  
サポートソフト

## 一般的なトラブル

### 接続したモニタに何も表示されない。もしくは、画面が乱れる

- \$** 本製品が正しく取り付けられていない  
電源を切り、もう一度本製品の取り付けをやり直してください。また、ケーブル類の接続も確認してください。
- 2** ソフトで設定した出力端子と、実際に接続した出力端子が異なっている  
28, 30ページの<設定>→[ディスプレイ]での[表示デバイス]に接続した表示デバイスが設定されているかを確認してください。
- 3** 出力解像度が、PALになっている  
日本国製の機器はPAL信号に未対応です。  
Sビデオおよびビデオに出力する場合は、NTSCの解像度をお選びください。  
設定は、35ページ<設定>→[ディスプレイ]で[表示デバイス]で接続した出力（Sビデオ、ビデオ）を選択後、[解像度]欄でNTSCの解像度を選択してください。  
※NTSCの解像度に関しては42ページ参照

### 画面の色がいつもと違う、暗い。

- \$** 各接続ケーブルが外れかかっていたり、接続ケーブルに異常がある  
各接続ケーブルを確認してください。
- 2** アナログケーブルと、Sビデオケーブル(もしくはビデオケーブル)が、同時に出カケーブルに接続されている。  
出カケーブルの端子には、出力するモニタのケーブルのみ接続してください。

困ったときには

## アナログディスプレイで表示位置がずれる

ディスプレイの規格が違う

ディスプレイ側で調整します。

ディスプレイの取扱説明書を参照してください。

## 動作中、PDAの画面が消える

電源容量が不足している

PDAを充電するか、ACアダプタを接続して、電源容量を確保してください。

## 本製品が認識されない

- ①一度アプリケーション（EasyViewとClearVue）を終了します。
- ②一度、PDAの電源を切り、本製品を抜きます。
- ③再度PDAの電源を入れ、本製品を挿します。
- ④EasyViewを起動したときに、右上にディスプレイマーク（以下の画面参照）が表示されていれば、本製品は正しく認識されています。



PDAをリセットしてください。

## リモコンが反応しない

リモコンの電池の残量が少ない  
新しい電池に交換してください。

リモコンをPDAの赤外線受光部に向けていない、もしくはPDAの赤外線受光部から1 m以上離れている  
リモコンをPDAの赤外線受光部に向け、1 m以内でご使用ください。

ActiveSyncで使用するCOMポートと競合している

- ①ActiveSyncでパソコンなどと接続している場合は、接続を切断してください。
- ②PDA側のActiveSyncの設定で接続を無効に設定してください。  
設定方法は各PDAの取扱説明書を参照してください。

## プラズマディスプレイ（PDP）に正しく表示されない

本製品の表示タイミングとプラズマディスプレイ（PDP）の表示タイミングがずれている

プラズマディスプレイのマニュアル設定で表示解像度の微調整を行ってください。

設定方法は、各プラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

## EasyViewのスライドショーのフォント表示がギザギザに見える

PPKファイルの解像度とEasyViewの表示解像度が一致していない

再度、PPKファイルを表示したい解像度のページサイズで作成してください。（23ページ参照）

# 仕様

## ●アナログRGB解像度

解像度	最大表示色	垂直走査周波数 (Hz)
640×480	ハイカラー	72/85
800×600	256色	60/72
	ハイカラー	60
1024×768	256色	60

## ●ワイド解像度

解像度	最大表示色	垂直走査周波数 (Hz)
848×480	ハイカラー	60

## ●テレビOUT解像度(Sビデオ/ビデオ共通)

### NTSC (日本国内で使用されているビデオ信号規格)

解像度	最大表示色
640×480	ハイカラー
696×436	ハイカラー

### PAL (主にヨーロッパで使用されているビデオ信号規格)

解像度	最大表示色
640×480	ハイカラー
800×572	ハイカラー

### 表示色数 ●

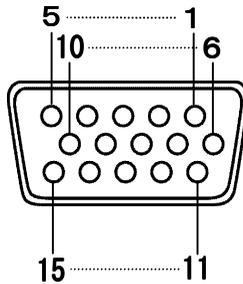
● ハイカラー : 256色/65, 536色表示

## ●ハードウェア仕様

同期信号	TTLレベル（負極性／正極性）
映像信号	アナログRGB 0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω
グラフィックチップ	EPSON社 S1D13806
動作環境	温度・湿度 温度：0℃～+40℃ 湿度：20%～80% （結露なきこと）
	消費電流 +3.3V …150mA（最大） ※PDA本体よりCFスロット経由で供給
外形寸法	45.0 × 42.5 × 3.3 mm （ケーブル含まず）

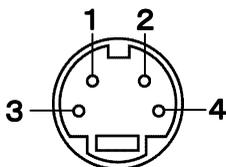
仕様

●アナログOUT・ピンアサイン (D-Sub15ピン)



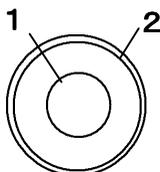
端子番号	信号名	方向	意味
1	AR	出力	アナログ赤色ビデオ信号
2	AG	出力	アナログ緑色ビデオ信号
3	AB	出力	アナログ青色ビデオ信号
4	—	—	未使用
5	—	—	未使用
6	GND	—	グラウンド
7	GND	—	グラウンド
8	GND	—	グラウンド
9	—	—	未使用
10	GND	—	グラウンド
11	—	—	未使用
12	—	—	未使用
13	HSYNC	出力	水平同期信号
14	VSYNC	出力	垂直同期信号
15	—	—	未使用

## ●SテレビOUT・ピンアサイン



端子番号	信号名	方向	意味
1	C	出力	搬送色信号
2	Y	出力	輝度、同期信号
3	GND	—	グラウンド
4	GND	—	グラウンド

## ●ビデオOUT・ピンアサイン



端子番号	信号名	方向	意味
1	Video OUT	出力	コンポジットビデオ
2	GND	—	グラウンド

# お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで受け付けています。

- ① まず、Readme.txtファイルをご確認ください。

「CFXGAサポートソフト」CD-ROM内にあるReadme.txtには、本製品の制限事項や注意事項が書かれています。ご確認ください。

- ② 次に、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

<http://www.iodata.jp/support/>

製品Q&A  
Newsその他

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

<http://www.iodata.jp/lib/>

最新  
サポートソフト

- ③ それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地  
アイ・オー・データ第2ビル  
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター  
電話： 本社…076-260-3646 東京…03-3254-1036  
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）  
FAX： 本社…076-260-3360 東京…03-3254-9055  
インターネット： <http://www.iodata.jp/support/>

## ・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起った状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

# 修理について

## 修理の前に

故障かな？と思ったときは、

- ①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
- ②弊社サポートセンターへお問い合わせください。  
（【お問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

## 修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

- お客様が貼られたシールなどについて  
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。  
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。
- 修理金額について
  - ・保証期間中は、無料修理いたします。  
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。  
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
  - ・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。  
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
  - ・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。  
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。  
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）  
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

## 修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

- メモに控え、お手元に置いてください  
お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。
- これらを用意してください
  - ・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）  
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
  - ・以下の内容を書いたもの  
返送先 [住所/氏名/(あれば)FAX番号]、日中にご連絡できるお電話番号、ご使用環境（機器構成、OSなど）、故障状況（どうなったか）
- 修理品を梱包してください
  - ・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
  - ・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。  
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。
- 修理をご依頼ください
  - ・修理は以下の送付先までお送りください。  
※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  - ・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地  
アイ・オー・データ第2ビル  
株式会社アイ・オー・データ機器 修理係 宛

## 修理品の返送

- ・修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。  
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

## 【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
  - 2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
  - 3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。
  - 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
  - 5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す場合には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
  - 6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
  - 7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
  - 8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
  - 9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
  - 10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
  - 11) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
  - 12) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
  - 13) お客様は、本製品または、その使用权を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
  - Microsoft, Windows, MS, MS-DOS, PowerPointおよびActiveSyncは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
  - WESTTEKは、米国およびその他の国におけるWESTTEK, LLCの登録商標です。
  - ClearVueは、WESTTEK, LLCの商標です。
  - その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

### CFXGA取扱説明書

2002. 06. 25 117084-01

発行 株式会社アイ・オー・データ機器  
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2002 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.

本製品および本書は著作権法により保護されておりますので  
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。